

第155回 創薬科学セミナー

GTR セミナー / CIBoG セミナー

このセミナーは創薬科学研究科・先端薬科学特論の単位認定となります

日時：2022年11月10日（木曜日）16:00～17:30

場所：創薬科学研究館2階講義室（205号室）

対面授業を基本としますが、対面で参加できない方はZoomでの参加も可とします。
本セミナーの受講希望者は参加形態に関わらず、11月9日（水）16時までに下記URL
またはQRコードから受講申請を済ませて下さい。

https://docs.google.com/forms/d/1pULPxjncNQSI0ZMIJ7_1BrAyx1e8_xSo7L8n9a2ZSVA/viewform?edit_requested=true&edit_requested=true



演題：

日本の創薬研究の現状と今後の展望

講師： **渡邊 修造 先生**

藤田医科大学 橋渡し研究シーズ探索センター 特任教授
（元ラクオリア創薬 取締役副社長執行役員 創薬研究部門長）

2020年前半から新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な感染の拡大が始まり、その後の繰り返される変異株の出現により、現在もなお感染は収まることなく世界中の人々の生活に大きな影響を及ぼしております。

COVID-19の終息を目指して、海外では新しい創薬技術を利用したmRNAワクチンが開発され、感染の抑制に対して大きな貢献をしていますが、日本のワクチン開発はなかなか進まない状況にあります。また経口の治療薬の開発も海外に遅れを取っており、未だに承認が得られておりません。

そんな中、昨年、厚労省は8年ぶりに創薬競争環境の変化に対応するため「医薬品産業ビジョン2021」を策定しました。この資料をもとに日本における医薬品の研究開発の現状や今後の方針等についてご紹介いたします。

またCOVID-19を一例にして、創薬研究に関する一般的な研究手法や考え方などをご説明するとともに、今後の新しい創薬技術についても併せてご紹介させていただきます。

連絡先：創薬科学研究科 分子微生物学分野
饗場浩文 (aiba@ps.nagoya-u.ac.jp 内線6803)

名古屋大学大学院 創薬科学研究科 基盤創薬学専攻
Department of Basic Medicinal Sciences, Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Nagoya University